

質問に対する回答について

工事名) 東北自動車道 向原橋床版取替工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	<p>特記仕様書 P12 にある 10-2 工事着手可能期間についてですが、向原橋橋梁下施工ヤードの着手可能時期が、工事名：東北自動車道白石～一関間橋梁補修工事、着手可能時期：令和6年8月上旬となっております。</p> <p>こちらの考え方は、向原橋床版取替工事受注者の着手可能時期が令和6年8月以降という意味合いでしょうか。それとも白石～一関間補修工事受注者との施工ヤード競合が令和6年8月以降にあるという意味合いでしょうか。ご教授願います。</p>	<p>向原橋床版取替工事受注者の着手可能時期が令和6年8月以降です。</p> <p>白石～一関間補修工事受注者との施工ヤード競合は起こりません。</p>
2	<p>壁高欄工についてですが、図面、数量、設計書ではプレキャスト壁高欄での計上となっておりますが、コンサル設計成果では、現地床版全敷設後に” 場所打ちで実施するものとする” との記載も見られました（施工計画：施工ヤード）。設計書ベースのプレキャスト壁高欄での考えでよろしいでしょうか。また、標準工程表の考えも、端部を除く一般中間部分はプレキャスト壁高欄で検討していると考えてよろしいでしょうか。ご教授願います。</p>	<p>壁高欄工について、鋼桁橋はプレキャスト壁高欄（端部場所打ちを除く）です。RC中空床版橋は場所打ち壁高欄です。</p> <p>なお、貸与資料である設計業務成果品は参考資料であり、特記仕様書、図面、共通仕様書の契約書類の記載内容を優先します。</p>
3	<p>クレーン配置計画について、向原橋上り線（A1～P2）の撤去・架設計画図（参考図）でのクレーン配置が公告図面とコンサル設計成果では反対となっております。公告図面は A2 側へ撤去方向であり、架設は A1 側方向へ架設する計画です。これはクレーンを2台使用する考えでしょうか。それとも撤去・架設方向は任意ということでしょうか。ご教授願います。なお、上り線 A1 側はオンランプにも近接するため、施工スペースが厳しいようにも見受けられます。</p>	<p>向原橋上り線（A1～P2）の撤去・架設計画図（参考図）でのクレーンは1台使用です。</p> <p>向原橋上り線（A1～P2）床版撤去計画図（参考図）（その1）のクレーン配置向きは向原橋上り線（A1～P2）プレキャストPC床版架設要領図（参考図）（その1）と同様に A1 側方向へ撤去する計画です。</p> <p>向原橋上り線（A1～P2）の撤去・架設計画図（参考図）は参考図であるため、床版の撤去・架設について貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>

4	<p>クレーン配置計画について、向原橋上り線（P6～A2）の撤去・架設計画図（参考図）では2台のクレーン配置が図示されております。これは、2台のクレーンを用いて、日々両側へ撤去設置していく計画ということでしょうか。それとも、クレーン1台にて片側から撤去設置していき、クレーン移動後に反対側方向から撤去設置を行う計画ということでしょうか。ご教授願います。</p>	<p>クレーン1台で床版撤去・架設を行う計画です。</p> <p>向原橋上り線（P6～A2）の撤去・架設計画図（参考図）は参考図であるため、床版の撤去・架設について貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
---	--	---